

研究課題名

乳児発熱時の哺乳量と菌血症リスクの関連に関する後方視的研究

研究の概要

松戸市立総合医療センター小児科では、3 か月未満の発熱を主訴に受診した患者さんについて、診療録を用いて「来院時の哺乳量と菌血症の有無との関連」を調べる研究を行います。これは、乳児の診療において哺乳状態がどの程度重症感染症の指標となるかを明らかにし、将来の診療の質向上に役立てることを目的としています。

対象となる方

2020 年 1 月から 2025 年 8 月までに当院外来を受診した 3 か月未満の発熱患者さんが対象となります。

利用する情報

診療録に記載された情報(年齢、性別、発熱の状況、哺乳量、血液培養結果、その他の検査結果や診断内容など)を匿名化して使用します。氏名や住所などの個人が特定される情報は削除し、外部に漏れることはありません。

研究による負担・リスク

新たな検査や治療などは行わず、診療録の情報のみを用いるため、患者さんに身体的・心理的な負担は一切ありません。

研究成果の公表

この研究の結果は学会や学術雑誌で発表される可能性があります、個人が特定されることはありません。

研究への参加を望まれない場合

この研究に自分(またはお子さま)の診療情報を利用してほしくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その際も診療上の不利益は一切ありません。

研究責任者・連絡先

松戸市立総合医療センター 小児科

研究責任者:有松優行(小児科医師)

電話:047-712-2511(代表)／応対可能 平日:9 時 30 分～17 時 00 分